

「龍谷の森」での卒業研究

宮浦 富保

龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科は2003年に開設された学科であり、2006年度から卒業研究が開始された。環境ソリューション工学科は生態学分野と都市環境工学分野とからなり、「龍谷の森」での卒業研究は主に生態学分野の研究室に所属する学生によって行われている。「龍谷の森」を利用した卒業研究は、環境ソリューション工学科以外の学生も行っている可能性があるが、本報告では実施状況が把握されている環境ソリューション工学科の卒業研究のみをとりまとめた。

2006年度には10件の卒業研究が、2007年度には20件の卒業研究が、「龍谷の森」およびその周辺で行われた。

2008年度には、表-1に示す16件の多彩な卒業研究が「龍谷の森」とその周辺で行われている。

表-1. 2008年度に「龍谷の森」とその周辺で行われた卒業研究

研究室	氏 名	論文タイトル
Lei	音川祐吾	コナラ二次林の伐採に伴う実生の動態
Lei	小幡正志	ヒノキ人工林下層植生の組成と構造
遊磨	太田真人	「龍谷の森」におけるチョウ類のピークマーク
遊磨	東郷有城	「龍谷の森」におけるガ類の群集構造及び環境評価
遊磨	永村幸博	林縁部におけるアリ類群集
遊磨	橋元陽子	カワニナ属の成長と生息環境
遊磨	村上拓也	カメ類における在来種と外来種の生息環境に対する適応性
近藤	西川公隆	アワダチソウグンバイがセイタカアワダチソウにおよぼす影響
竺	越川 翔	水源の異なる水田群における水生動物相の比較研究
宮浦	青木 将晃	u-w法を用いた樹木の成長解析ソフトウェア開発と検証
宮浦	新木享宏	「龍谷の森」の堤防調査

表-1. (つづき)

研究室	氏 名	論文タイトル
宮浦	佐藤青矢	「龍谷の森」及び龍谷大学瀬田学舎周辺のキノコ相
宮浦	新谷涼介	「龍谷の森」コナラ二次林の一次生産量
宮浦	建石いづみ	「龍谷の森」コナラ二次林伐採後の萌芽枝成長
横田	正野和馬	「龍谷の森」の鳥類相と植生、地形の関係
横田	内藤信弘	森林の存在が周辺気象環境に与える影響
横田	吉村章吾	龍谷の森のコナラ二次林における樹上節足動物相の把握